

教科	算数	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り 組む態度
1. なかまづくりと かず	15	○10までの数について、 個数の比べ方や数の読み 方、書き方、数の構成など を理解し、数のまとまりに 着目して数の大きさの比 べ方や数え方を考える力 及び数の構成に着目して 数を多面的に捉える力を 養うとともに、数に親しみ、 数で表すこと及び比べるこ とのよさや楽しさを感じな がら学ぶ態度を養う。	○10までの数につい て、1対1対応により集 合の要素の個数を比 べる方法や数の読み 方、書き方、数の構 成などを理解し、集合 の要素の個数を比べ たり、数を正しく数え 数字を読んだり書い たり、数の合成、分解 をしたりすることができる。	○数のまとまりに着 目し、数の大きさの 比べ方や数え方を考 え言葉やブロックな どを用いて表現した り、数の構成に着目 し、一つの数をほか の2つの数の和や差 として捉え言葉や半 具体物などを用いて 表現したりしている。	○数の比べ方や数え 方を考えた過程や結 果を振り返り、そのよ さや楽しさを感じな がら学ぼうとしてい る。
2. なんばんめ	3	○数を用いた順序の表し 方を理解し、基点に着目し て順序を考える力を養うと ともに、数を用いて順序を 表すことのよさを感じ、日 常生活に活用しようとする 態度を養う。	○数を用いた順序や 位置の表し方を理解 し、数を用いて順序や 位置を表すことができ る。	○数を順序や位置を 表すものとしてみて、 基点に着目して順序 や位置を考え、数を 用いて順序や位置を 表現している。	○数を用いて順序や 位置を考えた過程や 結果を振り返り、その よさや楽しさを感じな がら学ぼうとしてい る。
3. あわせていくつ ふえるといくつ	9	○加法の意味と和が10以 内の加法計算の仕方を理 解し、数量の関係に着目し て加法の意味や加法計算 の仕方を考える力を養うと ともに、加法の意味や加法 計算の仕方を操作や式に 表して考えた過程を振り返 り、そのよさを感じ、日 常生活に活用しようとする 態度を養う。	○合併や増加など、 加法が用いられる場 合について知り、加法 の意味を理解し、和 が10以内の加法計算 が確実にできる。	○加法の意味に着 目し、合併や増加な どの場面を加法の式 に表し、その計算の 仕方を1位数の構成 や操作などを用いて 考え、表現している。	○加法の意味や加法 計算の仕方につい て、数構成や操作な どを用いて考えた過 程や結果を振り返り、 そのよさや楽しさを感じ ながら学ぼうとして いる。
4. のこりはいくつ ちがいはいくつ	10	○減法の意味と被減数が 10以内の減法計算の仕方 を理解し、数量の関係に 着目して減法の意味や減 法計算の仕方を考える力 を養うとともに、減法の意 味や減法計算の仕方を操 作や式に表して考えた過 程を振り返り、そのよさを 感じ、日常生活に活用しよ うとする態度を養う。	○求残や求補、求差 など、減法が用いら れる場合について知 り、減法の意味を理 解し、被減数が10以 内の減法計算が確実 にできる。	○減法の意味に着 目し、求残や求補、 求差などの場面を減 法の式に表し、その 計算の仕方を数の 構成や操作などを用 いて考え、表現して いる。	○減法の意味や減法 計算の仕方につい て、数構成や操作な どを用いて考えた過 程や結果を振り返り、 そのよさや楽しさを感じ ながら学ぼうとして いる。

5. どちらがながい	6	○長さの比較などの活動を通して、長さや測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの長さについて任意単位などにより比較する力を養うとともに、長さについての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○長さについての基礎的な意味や、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、長さについての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、長さを比べることができる。	○身の回りにあるものの長さに着目して、直接比較や間接比較、任意単位による長さの比べ方を考えたり、任意単位により長さを数値で表したりしている。	○身の回りにあるものの長さに関心を持ち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
6. わかりやすくせいりしよう	3	○ものの個数について簡単な絵や図に表す方法を理解し、データの個数を簡単な絵や図に表し、それらの特徴を読み取る力を養うとともに、簡単な絵や図を用いてデータの個数を表したり、捉えたりしたことを振り返り、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。	○データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴を捉えている。	○簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
7. 10より おおきいかず	10	○40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10をひとまとまりにして数の数え方などを考える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、数で表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、40までの数を数え数字を読んだり書いたり、20までの数の構成を加法や減法の式に表すことができる。	○10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	○数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
8. なんじなんじはん	2	○何時、何時半の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	○何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。	○短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。	○時刻に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
9. 3つのかずのけいさん	4	○3つの数の加減計算の仕方を理解し、3つの数の加減計算の仕方を操作や式を用いて考える力を養うとともに、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○3つの数の加減計算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算が確実にできる。	○2つの数の加法や減法を基にして、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え表現している。	○3つの数の加減計算について、式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

10. どちらが おおい	5	○体積の比較などの活動を通して、体積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるもの体積について任意単位などにより比較する力を養うとともに、体積についての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○体積についての基礎的な意味や、保存性、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、体積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りにある入れ物に入る水の体積を比べることができる。	○身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による体積の比を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。	○身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
11. たしざん	11	○1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	○1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	○10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	○1位数どうしの加法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
12. かたちあそび	5	○身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特徴や機能を捉え、立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、立体図形の形に着目して特徴や機能を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	○身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能を捉えたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。	○身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして、表現している。	○身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
13. ひきざん	11	○11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	○11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	○数の構成に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	○11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

<p>14. おおきいかず</p>	<p>15</p>	<p>○2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10を単位として数を捉える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、数で表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>○2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、120程度までの数を数え数字を読んだり書いたり、2位数の数の構成を加法や減法の式に表すことができる。</p>	<p>○既習の数の表し方の仕組みを基に、120程度までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。</p>	<p>○数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。</p>
<p>15. どちらがひろい</p>	<p>1</p>	<p>○面積の比較などの活動を通して、面積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの面積について任意単位などにより比較する力を養うとともに、面積についての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>○面積についての基礎的な意味や比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、面積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や任意単位による測定などによって、身の回りにあるものの面積を比べることができる。</p>	<p>○身の回りにあるものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりしている。</p>	<p>○身の回りにあるものの面積に関心を持ち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。</p>
<p>16. なんじなんぷん</p>	<p>3</p>	<p>○何時何分の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>○何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。</p>	<p>○短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。</p>	<p>○時刻に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。</p>
<p>17. たしざんとひきざん</p>	<p>6</p>	<p>○順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、数量の関係を図に表し計算の意味を考える力を養うとともに、加減の意味を図に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>○順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。</p>	<p>○数量の関係に着目し、順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図や式に表して考え、表現している。</p>	<p>○順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表して問題を解決した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。</p>
<p>18. かたちづくり</p>	<p>6</p>	<p>○身の回りにあるものの形について、基本的な平面図形の特徴を捉え、平面図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、平面図形の形に着目して特徴を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。</p>	<p>○身の回りにあるものの形について、その概形や特徴を捉え、中空のものも中実のものと同じように見られることを理解し、色板や棒を並べていろいろなものの形を構成したり分解したりすることができる。</p>	<p>○身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴を捉えたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。</p>	<p>○身の回りにあるものの形について、形の特徴を捉えたり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。</p>

		○		○		○		○	
--	--	---	--	---	--	---	--	---	--